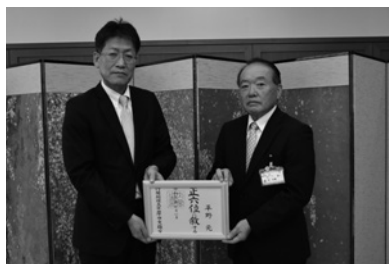




名誉市民 故平野元さんに 叙位「正六位」を伝達



9月11日、市役所公室で、今年7月に逝去された、名誉市民で元山県市長の故平野元さんに対する叙位「正六位」の伝達式が行われ、市長から遺族へ位記が手渡されました。

平野さんは、県職員を経て、平成14年に高富町長に、平成15年に初代山県市長に当選され、2期8年にわたり、市政の発展・振興のために多大な貢献をされました。また平成24年春には叙勲「旭日双光章」を受章されています。

山県市の魅力を来場者にPR! 山県市ホームタウンデー



9月9日、長良川競技場で、山県市ホームタウンデーとして、FC岐阜の試合が行われました。試合前のセレモニーでは、市長からFC岐阜のホームタウン応援大使で、市出身の横山智也選手に山県市発祥の山県ハヤシライスを渡しました。

また、観光ブースでは、横山選手にプレゼントした山県ハヤシライス販売のほか、市内産の果実を使った加工品の販売や市を紹介する観光パンフレットの配布を行い、市のPRをしました。

移動式アウトドアキッチン 寄贈に対する感謝状贈呈式



9月7日、(株)藤岡木工所からグリーンプラザみやまに、工事不要な移動式アウトドアキッチン「soto」の寄贈があり、市長から感謝状を贈呈しました。

今回寄贈された「soto」は、紙材に樹脂をまぜた合板から成るサステナブルな製品で、簡単に給水の接続ができるほか、電源も備えています。今後はグリーンプラザみやままで屋外の手洗い場や簡易キッチンとして活用される予定です。

「YAMAGATAブルー」 フォトツアーを開催



9月2日、円原川と神崎川の絶景を撮る「YAMAGATAブルー」映え写真フォトツアーのモニターリングを開催しました。

ツアーでは、円原川と神崎川流域の絶景ポイントで地元在住のカメラマンに指導を受けながら、参加者は鮮やかなブルーにきらめく川の撮影を楽しみました。また、参加者自らが被写体とした「映え写真」も撮影し、中でも、まるで水に浮いているように見える写真の撮影が好評でした。

市では、今後も写真による観光資源化や産業化を目指していきます。



世界平和を願って ウクライナ人道危機救援金受領



9月21日、市役所公室で、JAぎふ伊自良支店からウクライナ人道危機救援金71,740円を、日赤岐阜県支部山県市分区分長の市長が受領しました。

この救援金は、8月8日に開催された「ひまわりフェスティバル伊自良」で、物販などによる収益や募金などで集めたものです。JAぎふ伊自良地区選出理事の大村貞子さんは「一刻も早く戦争が終わり、平和になることを願っている」と話しました。

気軽に健康チェック まちの保健室



9月15日、市内商業施設で、市民の皆さんに気軽に健康チェックしてもらうことを目的に、まちの保健室を開催しました。

当日は、1分でできる血管年齢測定や、筋肉量や脂肪量を測定できる体組成測定、健康相談、山県薬剤師会によるお薬相談を行いました。

参加した市民からは「買い物ついでに、自分の体の状態を調べられて良かった」との声がありました。

知ることから始めよう 「認知症を知る」展示会



9月9日から18日の間、市内商業施設で「認知症を知る」展示会を開催しました。

この展示会は、認知症の理解を深めてもらうことを目的としています。認知症はどんな病気か、予防のために何ができるのかなどを展示で紹介しました。柿の木を模したメッセージリーには、「この展示会を通して、認知症への理解が深まり、住みやすいまちになってほしい」などの言葉が寄せられました。

市危険物安全協会 設立50周年記念式典



9月3日、花咲きホールで、市危険物安全協会設立50周年記念式典が行われ、約70人が出席しました。

式典では、危険物に関する各種事業を長年にわたり推進してきたことに対し、全国危険物安全協会から感謝状を受けました。

式典後には、社会政策課題研究所長の江崎禎英さんの講演があり、参加者は化石燃料の大切さとエネルギーの未来について話を聞きました。

伊自良中学校で 実験や映像で学ぶ防災講座



9月7日、伊自良中学校で、（一社）中部地域づくり協会を講師に迎え、全校生徒が防災講座に参加しました。

講座では、浸水被害に遭う様子を疑似体験する映像を視聴し、迅速な避難の大切さを学びました。また、液状化現象や地震の仕組みを学ぶ実験も行いました。生徒たちが、市作成の土砂災害ハザードマップをタブレットで閲覧する場面もあり、災害時の避難方法や避難場所について考える良い機会となりました。

生徒は「ハザードマップなどで情報を得たり、できるだけ早く避難したりすることが大切だと分かった」と話しました。

自分で植えた稲を刈り取るぞ 大桑小学校で稲刈り体験



9月12日、大桑小学校3、4年生17人が農事組合法人おおがの協力で稲刈り体験を行いました。

この稲は、5月に児童が植えたもので、大きく成長した稲を鎌で刈り取り、麻ひもを使って束にしました。収穫体験後は1束に何本の稲があるかや一つの稲穂に何粒の米があるか、など数えました。

児童は「稲を刈るときに、ぐっと力を入れて鎌を引くのが難しかった」と話しました。

美山中学校で ぎふしんマネーエデュ開催



9月21日、美山中学校で、岐阜信用金庫の金融リテラシー教育プログラム「ぎふしんマネーエデュ」が行われました。

金融リテラシーとは、金融や経済に関する知識や情報を正しく理解し、判断する力のことです。

当日は、同プログラムのすぐろく「ライフシミュレーションゲーム」を体験し、総資産額を競いました。その後、為替や資産形成などについて講話があり、生徒たちがお金について深く学ぶ貴重な機会となりました。今後、梅原小学校と桜尾小学校でも実施されます。